

2012年度 決算説明会

2013年5月16日

株式会社 大阪チタニウムテクノロジーズ

0

目 次

I 2012年度 決算実績

II 市場動向

III 2013年度 業績予想

IV 課題と取組み

1

I 2012年度 決算実績

2

2012年度 決算実績

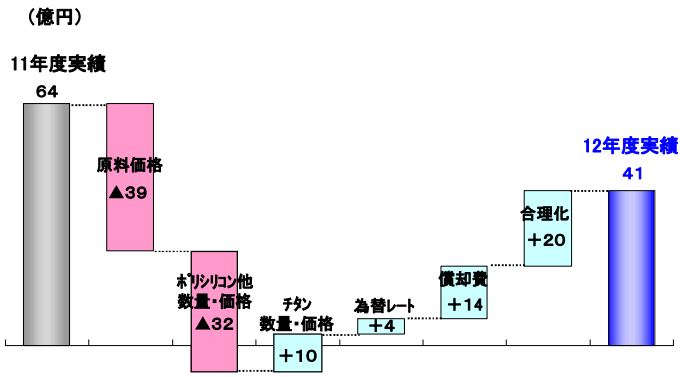
	11年度			12年度	
	実績	実績	差異 11→12年度	実績	差異 11→12年度
売上高	622	559	▲ 63	608	▲ 49
営業利益	64	41	▲ 23	42	▲ 1
営業外損益	▲ 4	▲ 2	+ 2	▲ 5	+ 3
経常利益	60	39	▲ 21	37	+ 2
特別損益	▲ 5	▲ 2	+ 3	▲ 3	+ 1
税引前当期利益	55	37	▲ 18	34	+ 3
当期純利益	31	21	▲ 10	21	± 0

<参考> (億円)

	(79円/\$)		(82円/\$)	(3円/\$円安)	(80円/\$)		(2円/\$円安)
(注) 営業外損益	11年度	12年度	差異	12年度予想	差異		
為替差額	▲ 2	2	+ 4	▲ 2	+ 4		
特別損益							
固定資産売却損	▲ 5	▲ 2	+ 3	▲ 3	+ 1		

3

営業利益 12年度実績と11年度実績との差異



4

12年度実績 セグメント別業績

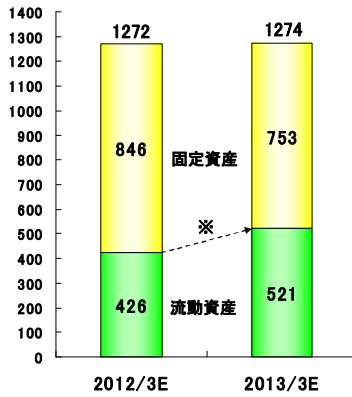
(億円)

	11年度実績		12年度実績		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
チタン事業	361	21	346	19	▲15	▲2
ホリシリコン事業	235	39	193	22	▲42	▲17
高機能材料事業	26	4	20	0	▲6	▲4
計	622	64	559	41	▲63	▲23

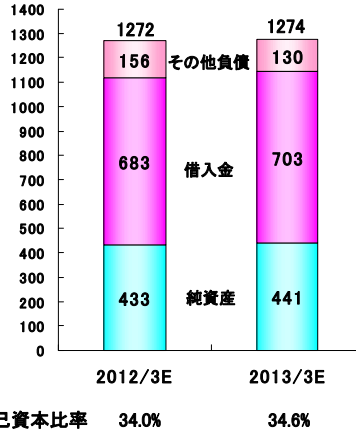
5

B/Sの概要

資産合計(億円)



負債・純資産合計(億円)



※棚卸資産増加

6

C/Fの概要

(億円)

	11年度実績	12年度実績
税前償却前利益	+ 201	+ 170
税支出	0	0
その他	△ 80	△ 118
営業活動によるC/F	+ 121	+ 52
有形固定資産取得	△ 220	△ 65
その他	△ 1	△ 6
投資活動によるC/F	△ 221	△ 71
新規借入	+ 139	+ 265
返済(リース含)	△ 41	△ 245
配当金	△ 9	△ 13
財務活動によるC/F	+ 89	+ 7
現金及び現金同等物増減	△ 11	△ 11

手許資金残高 (11/3E) 56億円 → (12/3E) 45億円 → (13/3E) 34 億円

7

II 市場動向

8

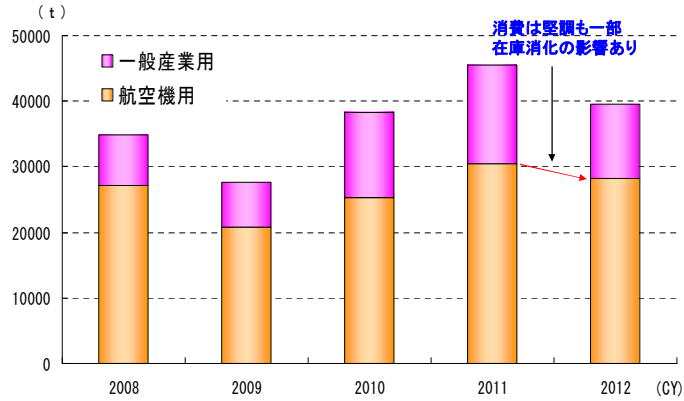
チタン市場動向(航空機用)

	市場動向
航空機用 展伸材市場	<p>【2012年度】 航空機需要は堅調なるも ・サプライチェーン内在庫調整 ・スクラップリターンの増加</p> <p>【2013年度】 2012年度トレンドが継続</p> <p>【2014年度～中期展望】 サプライチェーン内在庫調整終了、安定的な需要拡大軌道へ ・従来機(B737・A320)増産 ・新型機(B787・A350)生産本格化</p>

9

米国 チタンミルプロダクト 出荷実績

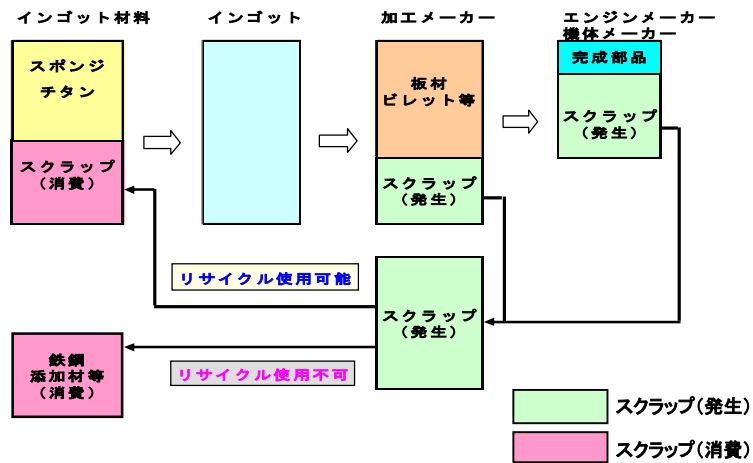
(ミルプロダクト: 鍛造ピレット、押出品、棒、線、板等インゴットを加工したもの)



出典: USGS(2013/3)

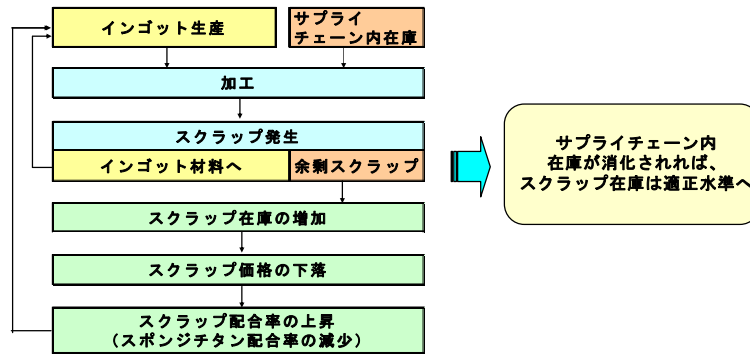
10

チタンスクラップ リサイクルチャート



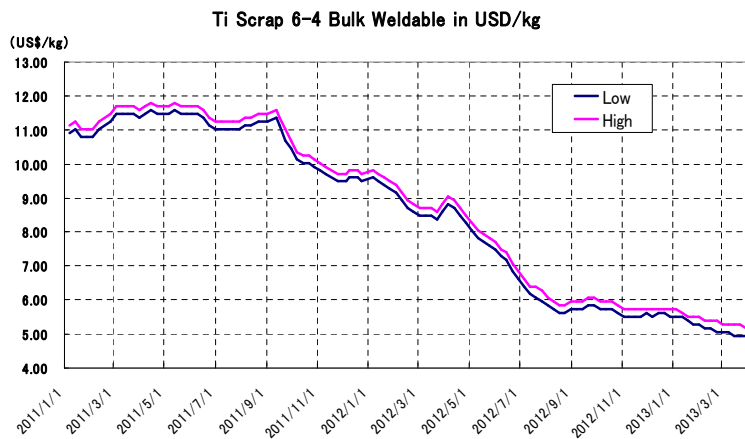
11

チタンスクラップ在庫増加要因



12

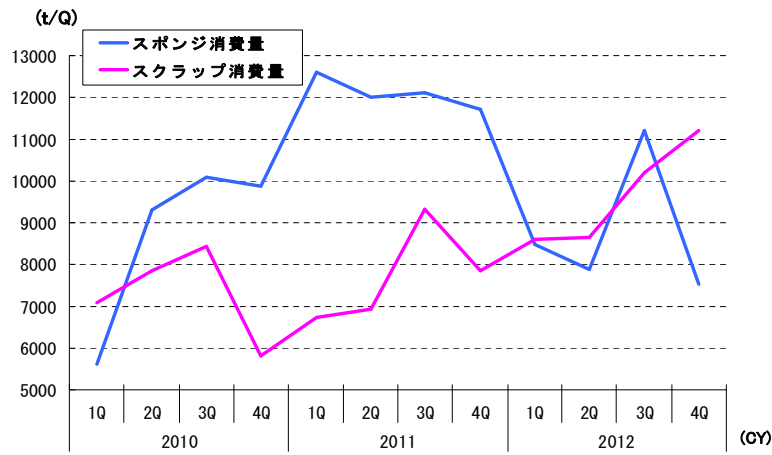
チタン合金スクラップ価格推移



出典:メタルプライス(2013/4)

13

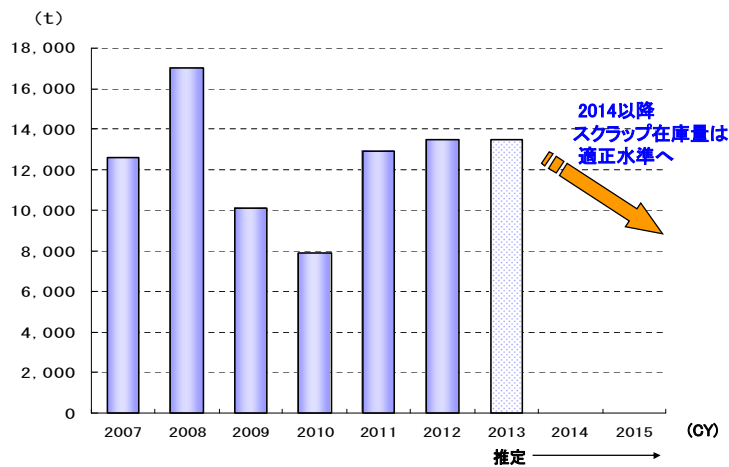
米国チタンスポンジ・スクラップ消費量



出典: USGS(2013/3)

14

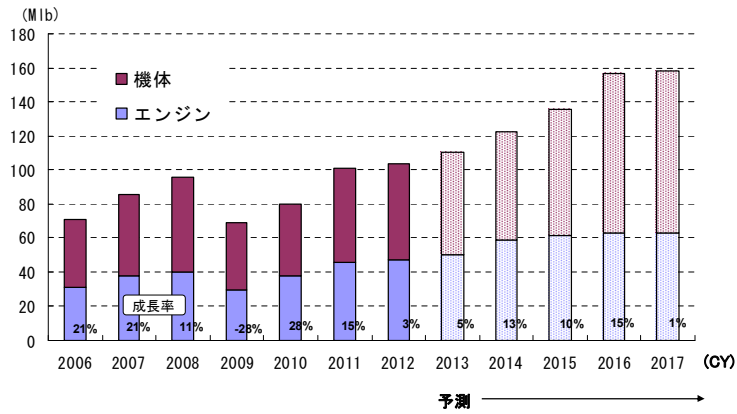
米国スクラップ 在庫量推移(推定)



出典: USGS(2013/3)資料をベースに当社推定

15

航空機用チタン出荷実績・予測



出典: Speed News(2013/3)

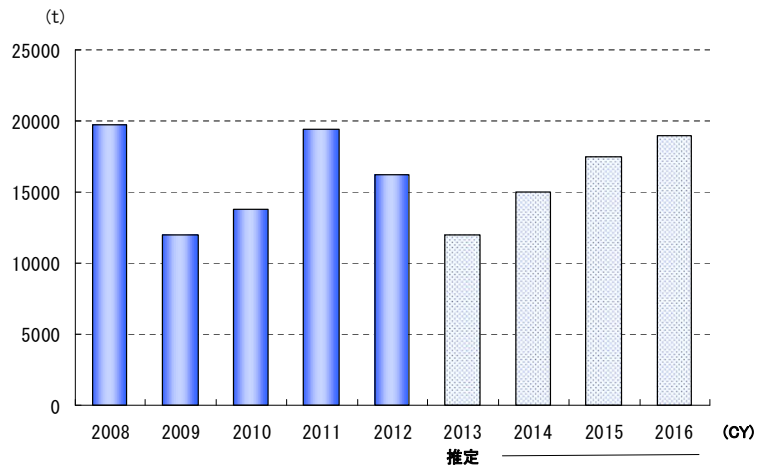
16

チタン市場動向(一般産業用)

市場動向	
一般産業用 展伸材市場	<p>【2012年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界経済の停滞 ・海水淡水化案件決定遅れ ・原発案件後ろ倒し → 2012年度契約量の次年度繰越 <p>【2013年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水淡水化案件の決定、原発案件他の新規出現なるも ・展伸材メーカー内での在庫調整が継続 <p>【2014年度～中期展望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在庫調整終了に加え、世界経済の回復見込み ・円安による国内展伸材メーカーの競争力アップ → 徐々に需要は回復傾向に

17

国内展伸材出荷実績・見通し



出典：日本チタン協会(2013/1)資料をベースに当社推定

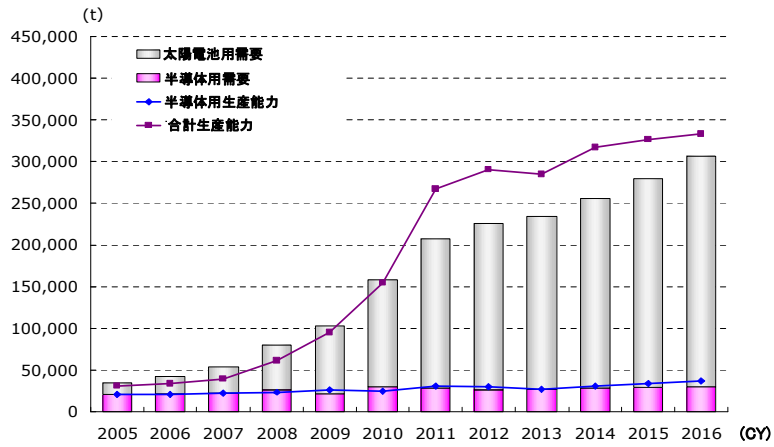
18

ポリシリコン市場動向

市場動向	
ポリシリコン市場	<p>【2012年度】 半導体需要低迷 ・サプライチェーン内在庫調整 ・世界的な供給能力増による需給ギャップ拡大</p> <p>【2013年度、2014年度～中期的展望】 需給調整継続 半導体需要は増加するも、供給能力は当面需要量を上回る状況が継続</p>

19

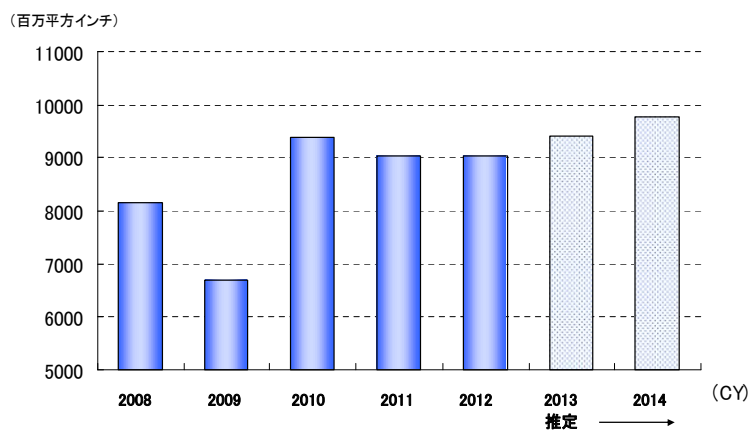
世界のポリシリコン需給バランス



出典: 当社推定 (2013/4)

20

世界のシリコンウェハー出荷実績・予測



出典: SEMI (2013/2) 資料をベースに当社推定

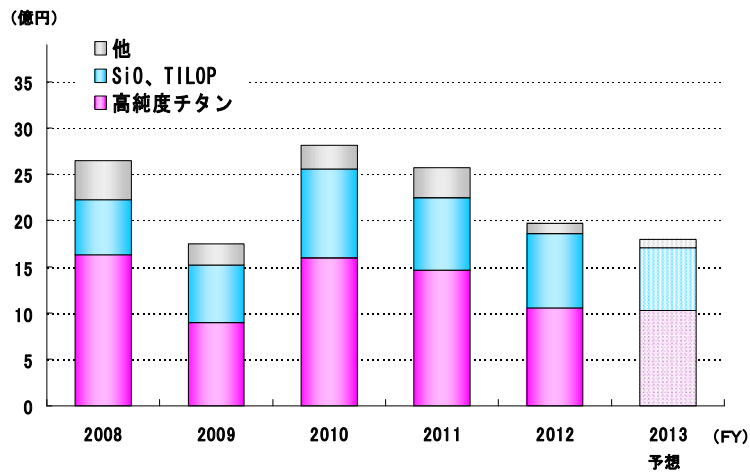
21

高機能材料市場動向

市場動向	
高機能材料市場	<p>(半導体ターゲット用高純度チタン) 【2012年度】 半導体需要低迷により低迷</p> <p>【2013年度】 2012年度トレンドが継続</p> <p>【2014年度～中期展望】 半導体需要回復に合わせて、高純度チタン市場は安定的に成長</p> <p>(電池用負極材 SiO) 【2013年度、2014年度～中期的展望】 スマートフォン等への採用本格化により、SiO需要は漸次増加</p>

22

高機能材料事業 売上高推移



23

Ⅲ 2013年度 業績予想

24

2013年度 業績予想

(億円)

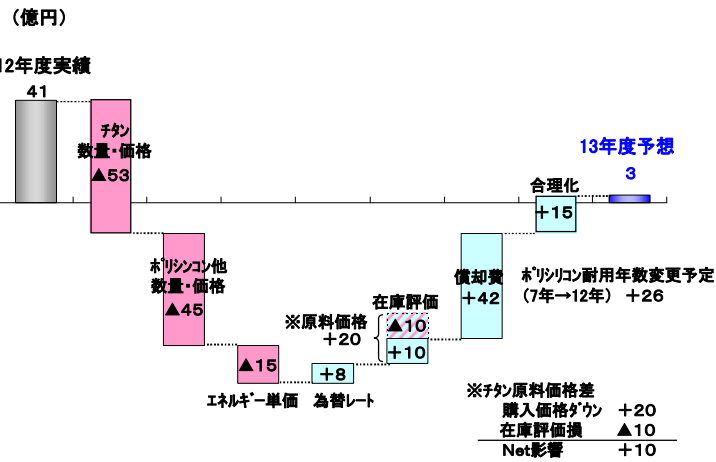
	12年度実績	13年度予想			差異
		上期	下期	計	
売上高	559	217	239	456	▲103
営業利益	41	▲4	7	3	▲38
営業外損益	▲2	▲8	▲6	▲14	▲12
経常利益	39	▲12	1	▲11	▲50
特別損益	▲2	▲1	▲2	▲3	▲1
税引前当期利益	37	▲13	▲1	▲14	▲51
当期純利益	21	▲8	▲1	▲9	▲30

(為替レート) (82円/\$) (90円/\$) (90円/\$) (90円/\$) (8円/\$円安)
 (期末為替レート) (94円/\$)

(注) 営業外損益 12年度 13年度上期 13年度下期 13年度 差異
 為替差額 2 ▲3 0 ▲3 ▲5
 休止設備償却費 0 ▲3 ▲4 ▲7 ▲7

25

営業利益 13年度予想と12年度実績との差異



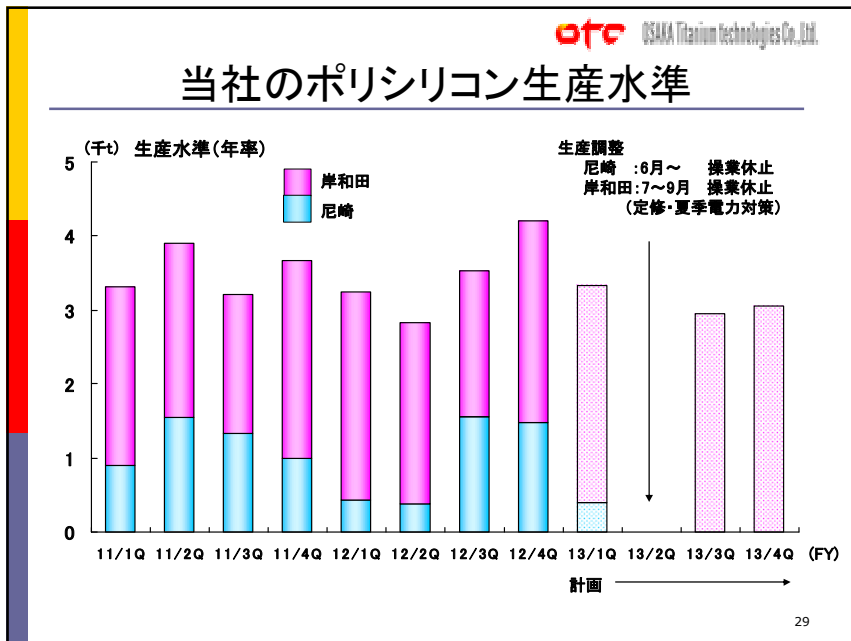
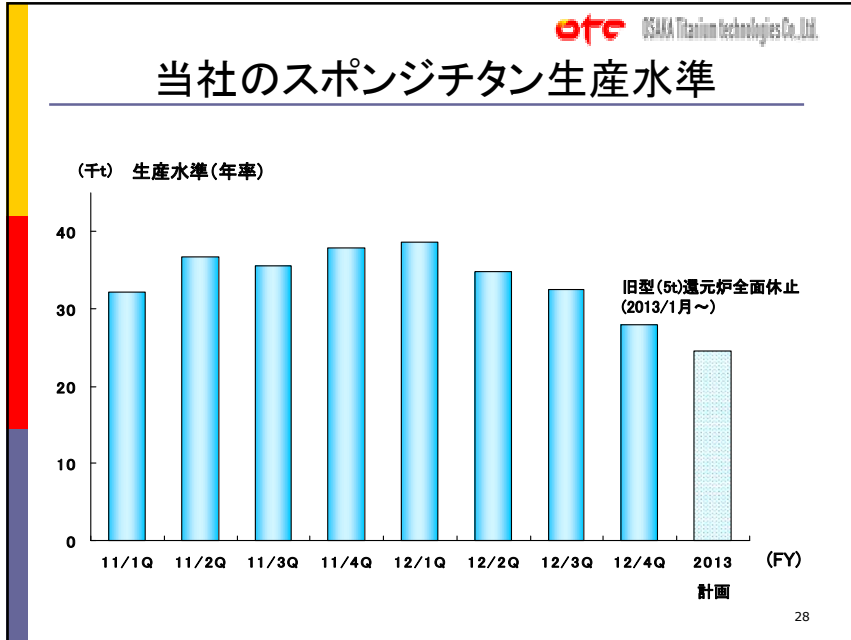
26

13年度予想 セグメント別業績

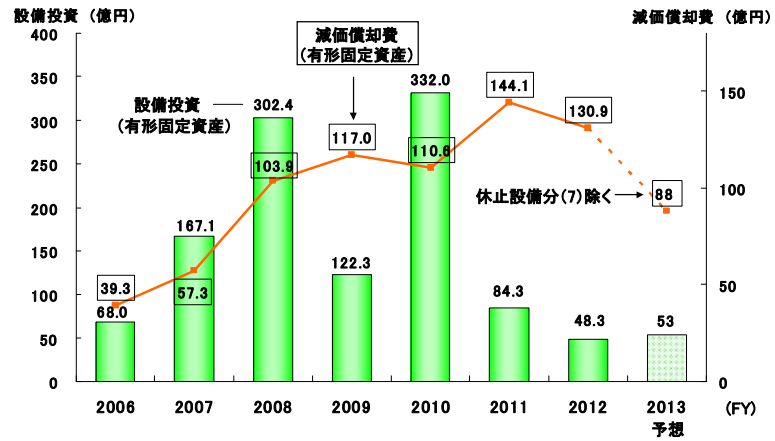
(億円)

	12年度実績		13年度予想		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
チタン事業	346	19	272	▲8	▲74	▲27
ポリシリコン事業	193	22	166	11	▲27	▲11
高機能材料事業	20	0	18	0	▲2	0
計	559	41	456	3	▲103	▲38

27



(参考) 設備投資(土地除く)と減価償却費



30

配当予想

	当期(13/3月期)実績	次期(14/3月期)予想
中間	15円/株	見送り
期末	5円/株	未定
年間	20円/株	未定
配当性向	35.5%	—

31

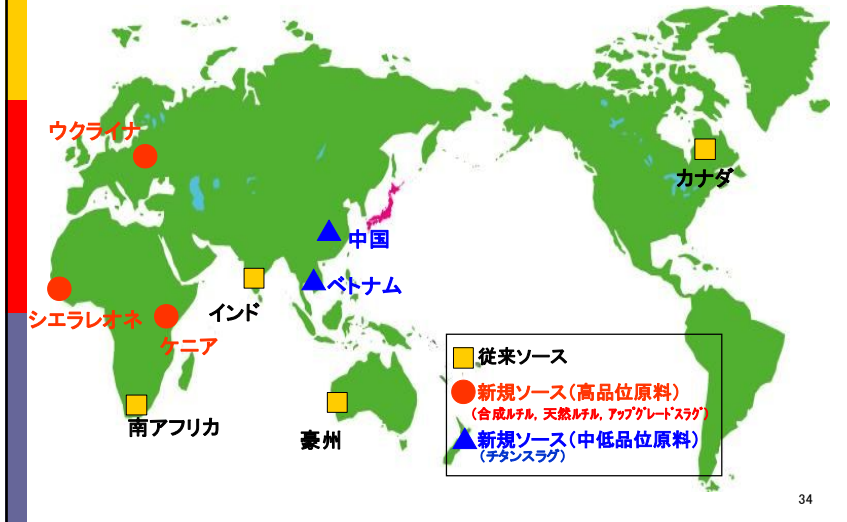
IV 課題と取組み

収益改善の取組み

大幅減産下で聖域なきコスト削減に取り組み

		効果(対前期比)	
		2012実績	2013予想
減産対応	チタン.....旧型(5t)還元炉全面休止(2013/1月~) ホリシロン・尼崎工場操業休止(2013/6月~) 岸和田工場夏季操業一時休止(2013/2Q)	—	—
コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> ・生産諸元改善.....歩留・エネルギー原単位向上、生産性改善 ・労務費圧縮.....役員・管理職年収引下げ ・要員余力活用.....外部委託作業内劣化、履調金教育 残業時間抑制 ・経費圧縮.....投資抑制(案件厳選)、聖域なき外部支出 圧縮、集中・競争購買促進 ・設備補修費削減.....補修方法改善、故障低減活動 	20億円	15億円

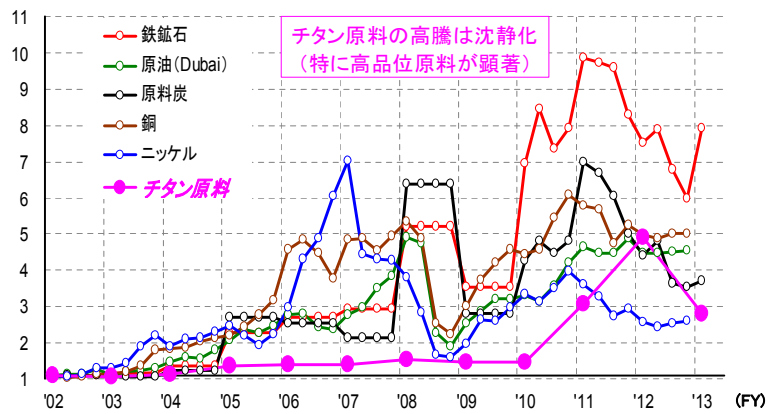
チタン原料の調達ソース拡大



34

商品市況の推移とチタン原料

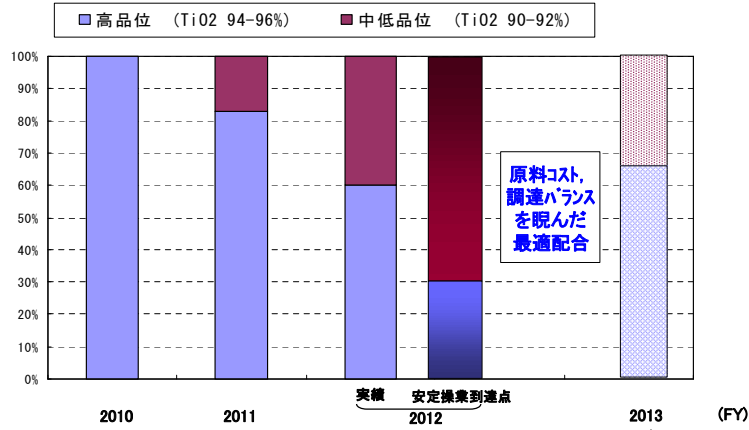
価格指数('02年度1Q=1)



出典:各市況データより作成

35

当社のチタン原料使用比率



高品位原料 : 合成ルチル, 天然ルチル, アップグレード*スラグ
 中低品位原料: チタンスラグ

終了

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、不確定要素を含んでおります。このため、様々な要因により、実際に生じる結果が予測内容と異なる可能性があることをご承知下さい。本資料利用によって生じるいかなる結果につきましても、当社が責任を負うものではありません。